

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】高山陣屋警備委託事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 高山陣屋管理事務所 管理調整係

電話番号：0577-32-0643

E-mail：c21806@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 32,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	32,000	0	0	0	0	0	0	0	32,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

(現状と課題)

「警備業務専門職」(会計年度任用職員)が実施している高山陣屋の警備業務については、職員の専門的育成に限界があるという問題を抱えたまま継続されている。また、警備員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の臨時的代替警備員による人的対応が困難な状況にある。これらの問題点について、警備員外注化によって解決を図るものである。

(2) 事業内容

会計年度任用職員である「警備業務専門職」により24時間体制で実施されている高山陣屋の警備業務及び警備付帯業務(建物の雨戸の開閉、駐車場の管理、大雨や積雪への対応等)について、警備員外注化することにより、職員の専門的育成に限界があるという問題を解決するとともに、警備員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の臨時的代替警備員による人的対応が可能な体制とする。

(3) 県負担・補助率の考え方
県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	32,000	○警備業務及び警備付帯業務（建物の雨戸の開閉、駐車場の管理、大雨や積雪への対応等） ○警備員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の臨時的代替警備員による人的対応
合計	32,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 国・他県の状況

警備業務の委託（常駐警備・機械警備）を行っている。

- ・犬山城（愛知県）常駐警備（夜間1名のみ）
- ・郡山宿本陣（大阪府）機械警備（夜間のみ）

(3) 後年度の財政負担

適切な施設管理のため不可欠な事業であり、後年度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が事業主体となり、高山陣屋を適切に維持・管理し、全国及び海外から訪れる方々に施設を広く公開するとともに、近世歴史研究拠点として情報発信している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「警備業務専門職」（会計年度任用職員）が実施している高山陣屋の警備業務については、職員の専門的育成に限界があるという問題を抱えたまま継続されている。また、警備員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の臨時的代替警備員による人的対応が困難な状況にある。これらの問題点について、警備員外注化によって解決を図る

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

高山陣屋の管理・運営のための体制構築に係る事業費であり、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 高山陣屋における警備業務については、専門的な知識や技能が必要であるため、人材確保が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
<p>警備業務の委託により事業を継続することにより、職員の専門的育成に限界があるという問題や、警備員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の臨時的代替警備員による人的対応が困難な状況を解決し、高山陣屋の警備業務に支障が生じないように運営していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【○○課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など		